



ふるさと協マーク

# 船迫生涯学習センターだより

船迫生涯学習センター  
西船迫三丁目 3-104  
電話 0224-57-2011  
第 17 号  
平成 24 年 1 月 1 日発行  
発行責任者 鈴木達哉

大変遅くなりました 平成 24 年になりました。

「平成 23 年度スタート」・・というタイトルでセンターだよりを作成していたところに、3 月 11 日の大震災がありました。柴田町は海辺の町に比べれば少ない被害でしたが、私たち現代に今生きている人々には経験もしたことのない、まさにひとりひとりにとって「想定外」の大きな災害でした。

電気・水道・ガスが停まったため、船迫生涯学習センターが避難所となり、大勢の人たちが数日を過ごさなければ、なりません。この貴重な経験を今後のセンターの運営に活かし、今まで以上にみなさんのコミュニティの中核施設として活動していきたいと考えています。

また、今回の災害において「過去の災害の歴史」に学ぶことの重要性が再認識されました。

「教養としての歴史」としてではなく、「今の生活に繋がる実用の知識」として、ここに生まれ育った人も、人生の半ばを過ぎてからここにきた人も、いっしょに船迫の歴史を共有していくお手伝いをセンターでも出来ないかなあ……、と考えるところです

大変遅くなりましたが……

平成 23 年 6 月 1 日異動の  
平成 23 年度のスタッフです。

館長 鈴木 達哉 (上下水道課より)  
主任主査 木村 正人 (町民環境課より)

昨年から引き続き

副館長 星 武  
主任主査 目黒千佳子  
事務補助 水戸 俊明  
船迫公民館 新田 和恵  
船迫公民館 渡 辺 隆

■お世話になりました

平間 信一 (5 月 31 日付退職)  
石上 幸弘 (スポーツ振興室へ)

3 月 11 日の大震災および、その後の余震などの影響で、センターだよりが遅れてしまいました。引き続きよろしくお願いいたします。

こんな事業をいたしました。

## ふるさと文化祭

さる 11 月 19・20 日に船迫小地区ふるさと文化祭が行われました。当初予定していた日程が、震災のため延期になった県議会選挙予定日と重なり、1 週間ずれてしまい、ある意味これも間接的ですが、震災の影響ですね。

19 日・20 日と、2 階の会議室では、22 組の個人・サークルの方々の作品が展示されました。

20 日には幼稚園から 90 歳代まで 43 組の個人・団体のかたがたが熱のこもった演技を披露いたしました。



一坪市も 6 グループが出店し、賑わいました。



## 震災をふりかえって

第 29C 行政区 区長 滝澤虎雄

千年に一度の、未曾有の、想定外の、東日本大震災から早 9 ヶ月(23 年 12 月 11 日現在)が過ぎました。

放射能汚染、大津波、家屋家具等の破損、食料、飲料水、電気、燃料・・・等、の甚大な被害は誰も経験のした事のないことばかりでした。

混乱の中、この震災と同時に船迫小学校区ふるさと協議会は直ちに船迫生涯学習センターに避難所を開設し、多数の避難者の救助に当たりました。

この間、船迫生涯学習センター職員、消防団、民生児童委員、各行政区の区長、副区長、役員、班長、婦人防火クラブ、ボランティア・・・等、皆が一つになり沢山の人の協力の下、昼夜にわたる救助活動が行われました。情勢が安定した一週間後避難所を閉鎖し、異常なく避難者全員自宅に帰宅いたしました。

今回の貴重な体験により防災は

**自助** (自分のことは自分で守る)

**共助** (助け合うこと・遠くの親戚より近くの他人・特に災害弱者対応)

**公助** (町、県、国等の行政及び公共機関)

の底力を発揮して、被害を最小限に食い止めることの大切さを経験いたしました。

新しい年がさらに良い年であるよう心からお祈りいたします。

データ 避難所開設 3月11日 地震発生直後～3月18日までのべ避難者数 1,177人 最大は 250人

4月7日(23:33)発生余震による避難所開設 1日 6人  
そのほか、船迫公民館にも3月11日・12日に避難所を開設し  
のべ 89人が避難しました。

## ありがとうございました

さる 12 月 7 日(水)午前、ふるさと協の皆さんに館の周辺の清掃をしていただきました。

ガラス窓をきれいに拭いたり、側溝に溜まった落ち葉も取り除いたり、すっかりきれいになりました。

落ち葉はリヤカー 4 台にもなりました。

ふるさと協の皆様 ありがとうございました。



## カンチョーの戯言・・・あるいは話のタネ

今回の東日本大震災の津波災害があった後になって、「波分神社」等過去の津波を記録した石碑や神社などが注目されました。防災対策において「過去の災害」を見つめなおす必要があるということでしょうね。

・・・ということで、話の種をひとつ・・・

船迫小地区ふるさと協の区域は、10・28・29ABCDの各区です

28区は「大字船迫」ですし、29各区の西船迫・北船岡も昭和20年代には大字船迫でした。10区は「大字船岡」です。何故10区だけ数字が離れているのでしょうか。??

それは、・・・昔、白石川は船迫の町の近くを流れていて、10区は船迫から見て川の向こう側(南東側)でした。

それが、水害対策のため、大正年間に白石川の付替え工事が行われ、10区は土手内と切り離されたのでした。もっとも町境になっていた川は動いても、槻木・船岡の町境は変わりませんでした・・・



柴田町史より白石川改修前

当時、船岡や船迫で大水害があり、東北本線も不通になって、東北本線の鉄道線路のルート変更まで真剣に検討された、ということです。結果的には、鉄道線路のルート変更ではなく、河川の流路変更(ショートカット)という方法が選択され、現在の形になったとのことです。新生町・若葉町など(旧)入袋地区が、大字船岡なのは、そういう歴史があったからなのです。詳しくは、柴田町史通史編Ⅱ 423頁をご覧ください。

このことは、50歳位以上の地元の人はみんな知っている・・・と思いましたが、子供たちや、越してきた人は意外と知らなかったりするのかもしれないね。自然災害は繰り返されます。この機会に柴田町史を、別の角度から読み返すのはいかがでしょうか。柴田町史は、センターおよび船迫公民館の図書室にも備えてあります。

## 図書室から 船迫生涯学習センター購入図書を紹介

### 【児童書・絵本】

○どろんこももんちゃん○こちょこちょももんちゃん(とよたかずひこ)○おまえうまそうだな○おれはティラノサウルスだ○きみはほんとうにステキだね○あなたをずっとずっとあいしてる(宮西達也)○もったいないばあさんもりへいく(真珠まりこ)○うそつきにかんぱい!(宮川ひろ)○14ひきのびくにつく○14ひきのとんぼいけ○14ひきのもちつき(いわむらかずお)

### 【一般図書】

○花の鎖○境遇(湊かなえ)○月と蟹(道尾秀介)○ポリティコン上・下(桐野夏生)○おおきななぶ、むずかしいアボカド(村上春樹)○保存食で体を整える(山戸ユカ)○老いの才覚(曾野綾子)○みやぎ地名の旅(太幸幸子)○先送りできない日本(池上彰)○日本の誇り(藤原正彦)○大人の流儀○いねむり先生○なぎさホテル(伊集院静)○木暮荘物語(三浦しをん)○天上紅蓮(渡辺淳一)○峠うどん物語上・下(重松清)○明日へのマーチ(石田衣良)○簡素な暮らしの家事手帳(村川協子)○生ききる。(瀬戸内寂聴)○おまえさん上・下(宮部みゆき)

